整理番号：2025426

【研究概要】

歯突起後方偽腫瘍（ROP）は比較的稀な疾患で重度脊髄症状を呈することが多い。我々は、後方固定術と環椎の椎弓切除による手術療法により良好な治療成績を得た報告する。ROP3 例は、全例で脊髄圧迫・頚髄症、転倒を契機に症状悪化した。ROP は病態により、炎症性／沈着性（non-MST）と環椎軸椎関節の動態ストレス関与（MST）に分類される。手術療法は、non-MST で後方固定、MST で椎弓切除の有用性が報告されているが統一した見解に至っていない。